

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	常設展示において研究成果を提供するほか、市民ニーズを考慮した特別展・企画展等を実施し、多様な形で市民の学習活動を支援する。また、調査研究の成果を生かし、幅広い市民のニーズに対応した講座を行う。さらに展示ガイドアプリなどのICT機器を活用した情報提供の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	5年振りに開催したアリットフェスタ特別展や、食文化ミュージアムとしての特色を打ち出したアリットお茶大学、開館30周年を記念する様々な事業の実施により学習機会の充実につなげることができた。							
指標及び説明	【指標】 博物館観覧者数			【説明】 学習機会の充実度を判断				
指標の推移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		23,027	平時	平時	平時			30,000
		R2 有事	20,369	23,989	30,310			R8 有事
							10,000	
分 析	令和6年度は、特別展をはじめ開館30周年を記念した事業を実施することで観覧者の増加につながったが、今後も市民へ博物館資料を活用した質の高い学習機会を提供していくためには、継続的に資料の調査研究等を行っていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	学習機会の提供に向けての調査研究に要する時間を確保するため、委託が可能な業務については事業者へ委託するなどの対応が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実					担当課	自己評価
						図書館	B
目 標	魅力ある図書館づくりを目指して、地域情報拠点機能の充実を図りながら、各世代の利用促進事業を充実していく。また、電子図書館サービスについて、来館の少ない10代後半から40代の子育て世代を中心とした電子書籍の収集に努める。						
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>【地域情報拠点機能の充実について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○入館者数 554,732人 (前年度比13,065人) ○移動図書館車の運行 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な巡回 (25か所) ・青少年活動センターのイベントに参加 (2回) ・貸出冊数 12,804点、新規利用者登録 28人 ○宮寺配本所の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・おはなし会の実施 2回 ・蔵書の入れ替え ○テーマ本の展示 <ul style="list-style-type: none"> ・関係各課とも連携を図りながら、「パープルリボン運動関連図書」「人生会議関連図書」等77種類の展示 <p>【利用促進事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館「本の福袋」「夏休み1日図書館員」「おすすめ児童書3冊セット貸出」等の実施 ・分館「ビブリオバトル」「俳句ポストの設置」等の実施 <p>【電子図書館サービスについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説や実用書を中心とした蔵書の追加 購入冊数 616冊 ・テーマ本の特集 29種類 						
指標及び説明	【指標】 入館者数				【説明】 図書館入館者数により、学習機会提供の充実度を判断する。		
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値
	人	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8
		638,659	平時	平時	平時		
		R2 有事	500,396	541,667	554,732		
341,039							
R8 平時	720,000						
R8 有事	430,000						
分 析	入館者について、6月～8月まで金子分館が金子地区センター改修工事のため休館していたものの、各館の閲覧席利用者やおはなし会参加者が増加したため、また、夏季の「まちのクールオアシス」に協力しているため入館者が多くなり、全体的には増加した。						
課 題 及 び 改 善 点	入館者数について、さらなる増加に努める。また、電子図書館について、10代後半の利用が少ないことから、周知し利用増に努める。						

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	学習の機会提供の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにし、地域を活性化するため、健康づくり、安心・安全な暮らし、趣味・教養の充実、少子高齢社会、情報格差の解消、環境問題、人権問題、貧困問題、伝統文化の継承等に関する教室や講座を開催する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	公民館基本計画で掲げた 10 の現代的課題を実施できた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 公民館基本計画で掲げた 10 の現代的課題をテーマとした学習事業の実績				【説明】 10 の現代的課題をテーマとした学習事業をバランスよく実施できたか否かで判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		8	平時	平時	平時			10
		R 2 有事	9	9	10			R 8 有事
4							5	
分 析	公民館基本計画において「現代的課題を中心とした学習事業の企画実施」を重点施策の主な取組に位置付けたことにより事業化が進んでいる。							
課 題 及 び 改 善 点	10 の現代的課題のうち、貧困問題に関する事業実施数が、他の事業と比較して少ない。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 2

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	市民や関係団体と連携しながら資料を収集整理、保存することで「もの」と「情報」の集積を図るとともに、調査研究、多様な方法により市民へ情報提供を行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	特別展の準備に向けて資料調査、資料整理を行うことで、その成果の一つである資料情報公開をより進めることが出来た。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 資料公開件数				【説明】 資料の収集・提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		46,877	平時	平時	平時			53,900
		R 2 有事	52,655	54,562	66,817			R 8 有事
47,737		暫定	暫定	暫定			—	
分 析	令和6年度は、過去の調査記録を整理することで公開件数が増加したが、博物館資料を継続的に収集・提供していくためには、専門的な知識を持つ学芸員の存在が不可欠である。また、収集した資料の情報を、効果的に市民へ発信していく方法を検討していく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	継続して調査し公開につなげていくため、調査に必要な学芸員の確保・育成が必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	各世代向けの図書資料の充実を図り、提供していくことで地域の課題解決を支援していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>【各年代向けの資料について】</p> <p>○赤ちゃん及び児童向け 令和6年5月31日～7月15日まで入間市クラウドファンディング型ふるさと納税を実施し、134万4000円の寄付から児童書720冊を購入した。</p> <p>○一般向け 購入のほか、市民からのリクエストに応えるため、相互貸借制度も活用し、提供に努めた。 購入点数 5,280冊、借用件数 4,766点</p>							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館資料の所蔵点数				【説明】 図書館資料の所蔵点数により、資料の収集・提供の充実を判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	点	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		579,430	平時	平時	平時			600,000
		R 2 有事	587,302	583,599	583,362			R 8 有事
582,693		600,000						
分 析	所蔵点数については、適切な選書により新刊及び寄贈資料からの受入れを行ったが、価値不要資料の除籍を行ったため、蔵書点数が若干減少した。							
課 題 及 び 改 善 点	子どもの読書推進のための児童書や調べ学習用の図書を購入するとともに、資料の適切な除籍を行い、資料保存スペースを確保する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	資料の収集・提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	住民の暮らしを豊かにするための図書や地域を活性化するための資料等の充実を図り、その利用を推進する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地域を活性化するために、9地区センターだより、掲示板やSNS等様々なメディアを通じて地域情報を発信した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 9館の地区センターだよりの発行回数				【説明】 地区センターだより（ホームページへの掲載含む）で判断する。			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		156	平時	平時	平時			108
		R 2 有事	156	108	108			R 8 有事
156		108						
分 析	所管する地区センターで地域情報を発信することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	更なる内容の充実及び情報量を高めていく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							博物館	B
目 標	展示事業や出版物の刊行、ホームページやSNSでの発信等、多様な方法で提供するほか、レファレンスサービスなどによる学習相談に対応する。また、様々な情報を多様なメディアを用いて発信するとともに、指定管理者と連携した魅力的な情報発信により、誘客の促進を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	博物館が運営するホームページやSNS等のほか、指定管理者による広報との連携により、博物館の展示や事業、資料の情報を効果的に発信し、市民の学習機会につながる情報提供を行うことができた。 ※令和6年度 博物館ホームページアクセス 351,594件。X(旧ツイッター) フォロワー 946件。フェイスブックフォロワー 501件。西洋館フェイスブックフォロワー 911件。指定管理者X(旧ツイッター) フォロワー 749件、インスタグラムフォロワー 245件、公式YouTubeチャンネル登録者 150件							
指標及び説明	【指標】 ホームページアクセス件数、SNS登録者数				【説明】 情報の提供の浸透度合いを判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	件	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		356,926	平時	平時	平時			380,000
		R2 有事	371,372	353,885	355,096			R8 有事
305,458		320,000						
分 析	情報発信の方法は、市の公式LINEや「すぐーる」など媒体が多様化してきている。博物館の情報を様々な媒体を活用することで、届けたい方に届けられようとしていく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	情報が流れ去っていくSNSとは別に、必要な情報にたどり着きやすいホームページは重要であり、次期情報システムでも、より伝わりやすく更新しやすい仕組みを検討する必要がある。							

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供					担当課	自己評価	
						図書館	B	
目 標	図書館資料の最新情報等を図書館ホームページ、図書館だより、広報いるま等、さまざまな方法により市民に、正確かつ迅速に伝えることに取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>【図書館ホームページについて】</p> <p>○新たにMY本棚機能を周知するなどして、利用促進に努めた。</p> <p>【図書館だよりについて】</p> <p>○図書館員が薦める一般書及び児童書の紹介を掲載し、利用促進に努めた。</p> <p>【広報いるまについて】</p> <p>○毎月のカレンダーや「あつまれ!いるまぐみ」に図書館情報を掲載し、資料だけでなく、イベント情報の周知に努めた。</p> <p>【図書館公式LINEについて】</p> <p>○チラシを作成し、LINE登録の増加に努めた。</p> <p>LINE新規登録数 361人</p>							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館ホームページへのアクセス数			【説明】 図書館ホームページへのアクセス数により、社会教育に関する情報提供の浸透度合いを判断する。				
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8 平時
		旧システムのため不明	平時	平時	平時			80,000
		R2 有事	17,608	501,941	499,845			R8 有事
旧システムのため不明		(1月~3月)					80,000	
分 析	図書館公式LINEアプリの利用数の増加に伴い、ホームページへのアクセス数が令和5年度より若干減少した。							
課 題 及 び 改 善 点	図書館ホームページについて、最新情報を掲載し、利用者に様々な情報を周知していくことでアクセス数を増加させる。また、図書館公式LINEアプリの周知にも努める。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	講座・イベント情報及びサークルや地域活動団体に関する情報を地区センターだより、SNS、掲示板等、さまざまな方法により市民に提供する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	地区センター（公民館）だより、掲示板やSNS等、様々なメディアを通じて学習情報を発信した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ホームページへのアクセス件数				【説明】 社会教育に関する情報の情報提供の浸透度合いを判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		583,754	平時	平時	平時			632,000
		R 2 有事	562,671	615,790	670,467			R 8 有事
511,794		592,000						
分 析	ホームページへのアクセス件数は令和5年度比で約8%増加していることから、社会教育に関する情報の取得においても電子化が進んでいる傾向が伺える。							
課 題 及 び 改 善 点	紙媒体での情報発信とのバランス及びSNS等を活用した周知方法を見直す必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (1) 社会教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 3

主 な 取 組	社会教育に関する情報の提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	講座・イベント情報、施設の自然情報等について、小中学校等へのチラシやポスターの配布、SNS等で、市民に提供していきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	SNS及び市公式ホームページの更新頻度を上げた。最新の情報を提供することができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 年間来所者数				【説明】 利用者の変化をPR効果と捉える			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		25,490	平時	平時	平時			38,000
		R 2 有事	16,000	21,176	25,248			R 8 有事
7,625		9,000						
分 析	事業情報を市公式ホームページに掲載、市公式SNSや児童・生徒へタブレットに配信及び、青少年活動センターSNSで参加者募集、事業報告、自然情報を配信するなど、PRに努めたことにより、利用者数が4,072人増加した。（前年度比19.2%増）							
課 題 及 び 改 善 点	小中学校生徒に情報提供するための新たな手法を調整・検討し、効果的な情報発信に取り組む。							

施 策	(1) 社会教育事業の充実					
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価		
	学習の機会提供の充実	博物館	A	A		
		図書館	B			
		公民館	A			
	資料の収集・提供	博物館	A			
		図書館	A			
		公民館	A			
	社会教育に関する情報の提供	博物館	B			
		図書館	B			
		公民館	A			
		青少年活動センター	A			
	学 識 経 験 者 等 意 見	<p>「学習の機会の提供」に関して、まず、博物館においては、特色ある特別展や企画展、開館30周年記念事業などの実施によって観覧者数が令和元年度の指標を大幅に上回っています。こうした企画運営の努力の結果がこの観覧者数に表れており大変喜ばしいことと評価いたします。市民のニーズに応えた取組には、学芸員の調査研究成果の裏付けがあつてのこととあります。課題にあげられておりますように、学芸員がその専門性を発揮するためにも調査研究の時間を確保され、次年度ではそれがどのように改善できたかがわかるよう工夫していただくことを希望します。</p> <p>図書館においては、入館者数が増加傾向であり、本館、分館の取組に加えて、引き続き移動図書館車の運行や電子図書館サービスなど、あらゆる世代の市民が本を手取る機会を確保する努力がみられ評価いたします。とりわけ電子図書館については、新着、貸出ランキングや特集など紹介されている本を手にとってみたいと思えるような工夫がされています。課題にありました電子図書館の10代後半の利用者が少ない点については、利用者カードの発行を含めて申込手続きを来館しなくてもできるアウトリーチの方法など検討の余地があるように思います。読書が学校の授業以外で減ってしまうこの若い世代の読書量改善のための工夫を引き続きしていただくことを希望します。</p> <p>公民館においては、公民館基本計画で掲げた現代的課題10の現代的課題をテーマとした学習事業すべてが実施できた点は昨年度からの改善だと大変評価いたします。課題点にあげられている貧困問題に関する事業実施数が他の事業と比較して少ない点については、格差が拡大し固定化しつつある日本社会の実態を鑑み重要な課題ですので、次年度充実した事業の企画を期待します。また、こうした企画に関して、図書館司書の専門性が問われてまいります。本市においても、司書有資格者の十分な人的配置を進めていくよう期待します。</p> <p>「資料の収集」に関して、博物館、図書館、公民館すべてにおいて自己評価が「A」であり、その取組状況は順調であったと拝見しました。次年度も引き続き充実した事業の実施を期待します。</p> <p>「社会教育に関する情報の提供」に関して、博物館、図書館、公民館、青少年活動センターにおいて、概ね取組状況は順調であったと拝見しました。次年度も引き続き充実した事業の実施を期待します。各担当課の活動形態や事業内容に違いがあること、それぞれの特色を生かして実施していくことを前提にしつつ、各課間でもっとも有効だった情報提供の方法手段に関して情報共有し補いあえると効果的な改善につながるのではないかと考えます。例えば、青少年活動センターが、児童生徒のタブレットに情報を配信していく取組は他の課でも参考になるのではないかと考えます。</p>				

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	ブックスタート関連事業を中心とした子育て支援策を検討するとともに、「おはなし会」や「おたのしみ会」などの利用促進事業を通して、子育て、家庭教育力の向上を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	【ブックスタート関連事業について】 ・「赤ちゃんサロン」での読み聞かせ等の実施 8回 ・3~4か月健診時にリーフレット「絵本のある子育て」の配布 【おはなし会の実施】 ・赤ちゃんおはなし会を含めた実施回数 302回 【冬のおたのしみ会】 ・実施回数 4回							
指 標 及 び 説 明	【指標】 子育て・家庭教育事業の実施回数				【説明】 子育てや家庭教育を支援する事業（おはなし会）の実施数により、支援の充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	回	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		349	平 時	平 時	平 時			350
		R 2 有 事	230	284	302			R 8 有 事
72		80						
分 析	令和4年度に再開した「赤ちゃんおはなし会」が定着してきたこと及び西武分館の実施時間をより参加しやすい時間に変更したこと等により、前年度より参加者が増加した。							
課 題 及 び 改 善 点	「おはなし会」参加者の増加に努めるとともに、読み聞かせ技術の向上を目的とした読み聞かせボランティアの育成を図り、ひいては乳幼児の親を支援する。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	地域ぐるみで子どもを育てる地域づくりを目指して、関係機関・団体等との連携による子育て広場事業、家庭教育学級を開催する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育て・家庭教育支援事業を共催等で実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 子ども・子育て支援事業の数				【説明】 事業数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		5	平 時	平 時	平 時			30
		R 2 有 事	27	27	32			R 8 有 時
0		25						
分 析	公民館基本計画において「地域ぐるみの子ども・子育て支援の促進」を重点施策に位置付けたことにより事業化が進んでいる。							
課 題 及 び 改 善 点	事業実施数だけでなく、事業の内容についても充実させる。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	乳幼児の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	B
目 標	乳幼児と保護者を対象にした自然体験事業「およこ森あそび」を実施し、自然の中で親子同士の交流や自然遊びを行います。							
取 組 状 況 及 び 成 果	10回開催。リピーターを含め、参加者が増加した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		313	平時	平時	平時			300
		R2有事	200	101	172			R8有事
50		0						
分 析	当初の予定通り、自然体験事業を計画的に開催したこと及び、ポスター掲示やホームページ、SNS等を活用し、PRに努めたことにより、参加者が71名増加した。(前年度比61.4%増)							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラム開発とPR改善を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P24

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	B
目 標	PTA活動の活性化を図るため、家庭教育学級の企画運営、PTA広報紙発行の支援を行う。							
取 組 状 況 及 び 成 果	可能な範囲で家庭教育学級を実施したが、昨年度より実施回数が減少した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 家庭教育学級実施回数				【説明】 家庭教育学級を実施した回数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	回	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0	平時	平時	平時			78
		R2有事	66	67	56			R8有事
33		52						
分 析	昨年度と比較して実施回数は減少しているが、1事業あたりの平均参加者数は増加していることから、関心のある講座を実施できた。							
課 題 及 び 改 善 点	仕事を持つ母親の増加により、家庭教育学級を担当する組織が減少している。活動を継続していけるよう、家庭でできる家庭教育学級やSNSの活用により負担軽減を図っていく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子と一緒に学ぶことができる体験事業を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 体験事業の数				【説明】 事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	件	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		9	平 時	平 時	平 時			9
		R 2 有 事	7	7	9			R 8 有 事
5							7	
分 析	公民館基本計画において「子育て・家庭教育支援事業」を重点施策の主な取組に位置付けたことにより事業化が進んでいる。							
課 題 及 び 改 善 点	実施できていない公民館もあるため、事業の企画及び検討をする必要がある							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	小中学生の親を支援する事業の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
目 標	自然体験等の多様な親子体験事業を実施し、共同作業により親子の一体感を高め、自らの子育ての振り返りや親子同士の交流を促進します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	親子体験事業を3事業5回開催した。自然やキャンプの楽しさを親子で学ぶ機会となった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	人	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		0	平 時	平 時	平 時			300
		R 2 有 事	0	37	68			R 8 有 事
0							0	
分 析	施設の特徴を生かし、親子で楽しめる自然体験事業を実施したことにより、参加者が31名増加した。(前年度比81.1%増)							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。							

施策の体系] 4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 5

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進					担当課	自己評価
						博物館	A
目 標	専門性を生かし、ボランティアとの協働により、親子で参加できる催しや地域の特性を生かした事業を実施する。また、学校と連携して博物館授業の充実を図るほか、「むかしのくらしと道具展」等では、地域の子どもたちと主体的に関われる事業を博物館ボランティア等と協働で実施する。						
取 組 状 況 及 び 成 果	市内外小中学校等延べ64校4,623人に対して、博物館授業（オンライン授業含む）を実施。ボランティアや地域と連携した事業を9件実施。学校やボランティアとの連携を通して、地域のなかの博物館としての取組みを深めることができた。						
指標及び説明	【指標】 学校・家庭等と連携した事業数		【説明】 学校・家庭等との連携の度合いを判断				
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値
	事業数	R1 平時	R4	R5	R6	R7	R8
		69	平時	平時	平時		
		R2 有事	57	66	73		
5							
分 析	オンライン授業では、実物資料に触れることはできないが、移動を伴わずに博物館授業を受けることができるなど、オンラインならではの利点があり、効果的な手法により取組んでいく必要がある。						
課 題 及 び 改 善 点	オンライン授業は、より効果的な手法を検討していく必要がある。またボランティアとの連携においては、高齢化、メンバー固定化による人員減少が課題となっている。						

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	関連する市民団体や他の行政機関と連携・協力した事業を実施し、読書活動の推進を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>【小学校との連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館利用教室 小学2年生対象 実施数15校 854人 ・図書館施設見学 小学3年生対象 実施校15校 1,053人(1校は前年度に実施済) ・学校図書館ボランティア研修会 全2回 参加者44人 ・小・中学生向きのブックガイド「あれこれブックガイド」の発行及び連絡アプリ「すぐーる」での配信 小学生6,456人、中学生3,313人 ・小学生を対象とした「読書ラリー」の実施 参加者延べ704人 ・移動図書館車の小学校への定期的な巡回 8校 <p>【その他の施設との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育室や学校等への配本サービス 定期団体36団体 23,290冊 ・市内高等学校との連携会議の実施 1回 ・関係各課所との協力事業 「平和祈念資料展」「入間市自然展」等 ・いるま生涯学習出前講座「読み聞かせ講座」の実施 6回 							
指 標 及 び 説 明	【指標】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数				【説明】学校・家庭・地域と連携した事業の実施数により、連携の度合いを判断する。 (図書館利用教室及び図書館施設見学)			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	校	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		31	平 時	平 時	平 時			32
		R 2 有 事	32	31	30			R 8 有 事
0							-	
分 析	小学校の日程の都合上、実施校数が減少してしまったが、小学校と連携し、読書活動の推進を図ることができた。							
課 題 及 び 改 善 点	施設見学に参加できない学校及び児童に対し、図書館公式ホームページでの動画「図書館にいこう」を案内するなどして、図書館に対する理解を深めてもらうよう努める。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	地域との連携による子どもたちを中心とした世代間交流会事業、地域交流事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	世代間交流事業、地域交流事業等を住民や団体と共催等で実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】世代間交流事業、地域交流事業等の数				【説明】事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		8	平時	平時	平時			9
		R 2 有事	7	7	5			R 8 有事
1		7						
分 析	公民館における事業の選択、関係団体との調整の結果、事業数が減少した。							
課 題 及 び 改 善 点	新たな交流事業の企画も含めて、地域の関係団体等と事業を計画していく。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							児童センター	A
目 標	生活課題や地域課題解決のための市民の主体的な学習活動や交流活動を促進するため、「個人の要望」に基づく学びとともに、「社会の要請」を踏まえた市民同士の学び合いの充実を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>地域との連携を図るため、児童の健全育成を推進するボランティア会等と協働し、季節行事やクラブ・教室などを行っている。また、市内の様々な場所で子どもの遊ぶ環境を確保し、遊びを通じた活動を促進するため、移動児童館や出張児童館を行っている。そして、遊び道具を積載するプレーカーを活用し、アウトリーチ事業を実施している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動(出張)児童館:プレーカーを活用し、市内の公民館や近隣の公園に出張し、地域の子どもたちに児童センターの事業の一部を提供する。25回(1729人) ・出張天体観望会:近隣の施設や小学校に出張し、望遠鏡を使って季節の星や惑星・月を観測する。6回(126人) ・プレーカー貸出し事業:遊びを通じた活動等を行う市民団体を対象にプレーカーの貸し出しを行っている。11回 							
指 標 及 び 説 明	【指標】設定困難				【説明】-			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	-	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時	-	-	-
		R 2 有事	-	-	-			R 8 有事
-		-						
分 析	ボランティア会との協働事業はすべて実施することができた。また、地域のNPOや企業などとも連携し新たな事業を実施することができた。プレーカーについても、出張児童館などを通じて、各地域に出向き遊びを展開することができた。							
課 題 及 び 改 善 点	出張児童館については、今後、効率的な人員配置と事業の見直しを図り、より拡充していきたい。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	学校・家庭・地域の連携の促進						担当課	自己評価
							青少年活動センター	C
目 標	青少年関係団体や地域の老人クラブ等と連携し、小学生を対象とした体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	ネイチャークラフトたいけん、ミニ門松づくり、みんなでたき火デーを実施。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による支援数			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	人	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		247	平 時	平 時	平 時			250
		R 2 有 事	150	54	108			R 8 有 事
0		0						
分 析	小学生対象の事業のほか、誰でも気軽に参加できる事業も取り入れたことで、参加者が54名増加した。(前年度比100.0%増)							
課 題 及 び 改 善 点	より多くの参加者を受け入れるためのプログラムの開発とPR改善を図る。							

施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(2) 家庭・地域の教育力の向上

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P25

主 な 取 組	団体支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	子育てサークル活動の場を提供するとともに、活動相談に応じる。							
取 組 状 況 及 び 成 果	子育てサークルに活動の場を提供するとともに、活動相談に応じた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 子育て・家庭教育支援事業の数				【説明】 事業数により充実度を判断			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	回	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		34	平 時	平 時	平 時			50
		R 2 有 事	48	48	32			R 8 有 事
15		40						
分 析	子育てサークル数が令和5年度より1団体減少して5団体であったため、令和5年度と比較して、事業実施数が減少した。							
課 題 及 び 改 善 点	親子で参加できる事業等を通じて仲間づくりを促し、子育てサークルの誕生を応援していく。							

「小中学生の親を支援する事業の充実」に関して、社会教育課において、家庭教育学級活動の継続課題に対して、在宅型でできる内容を充実させるなど努力をされていることがうかがわれます。近年の保護者の生活状況にあわせた持続可能な実施の工夫をさらに努めてほしいと思います。課題及び改善点のところに「仕事を持つ母親」とあり、この事業が女性の保護者を前提に実施されている点も、共働きの状況等がかんがみて、男性の保護者の参加も可能となるような実施形態に改善していくことを期待します。公民館においては、事業数が2つ増加し進捗が順調であることがうかがわれます。ただし、参加者数をみえる化しながら分析を記載していただけたらとより評価が確かなものになります。ご検討願います。青少年活動センターにおいては、自己評価がCとなっておりますが、特色を生かした自然体験事業を実施するなど進捗が順調であることがうかがわれます。引き続き参加する親子が増えるような企画を実施していただきたいと思えます。

「学校・家庭・地域の連携の促進」に関して、博物館、図書館においては、小学校や中学校との連携事業の進捗が順調であることがうかがわれます。公民館、青少年活動センターおよび児童センターにおいては、世代間交流を意識した事業やプレーカーなどアウトリーチ事業等興味深い事業を取り組まれています。しかしながら、学校と地域（および家庭）との連携といった視点はやや弱いように見受けられます。この三者が連携することで、家庭・地域の教育力の向上を図るといった施策（2）の目標に対して、どのように学校が連携してけるのかが今後検討されるとよいのではないかと思います。なお、児童センターの事業評価ができる指標の設定を次年度の報告書作成の際に検討をお願いします。

「団体支援の充実」に関して、公民館および青少年活動センターにおいて、事業実施の継続性にかかわる課題が見受けられました。少子化にともなう団体の減少状況は回避できませんが、活動をどう活性化していけるような工夫をぜひ期待いたします。

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年課	B
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	参加を希望する児童の落選者数を削減する。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 落選率				【説明】 応募者総数からの落選者数の割合			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	%	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		-	平時	平時	平時			-
		R 2 有事	10.46	3.9	8.6			R 8 有事
-							-	
分 析	<p>申込数、参加者数はコロナ対応期に入り減少したが、コロナ対応が定着し始めると増加した。ここ数年の参加者数は450人～650人を推移している。これは、放課後子ども教室のプログラムの質を維持し、前回の応募状況を見ながら落選者数を出さないよう調整してコース数と定員を決めているためである。</p> <p>令和5年度に比べ令和6年度に落選率の割合が上がったのは、令和6年度より申し込み方法が変わったため変動したと分析する。</p>							
課 題 及 び 改 善 点	落選者を出さないよう前学期の応募状況を見ながらコース設定数と定員数を調整する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 6

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	サイエンスバー、夏休みこどもお茶大学、むかしのくらしと道具展等、博物館の専門性を生かした体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	指定管理者と連携してアリットお茶大学の実施形態を見直すことで事業の充実を図るとともに、従来の体験活動も継続して実施することで、多様なプログラムの提供につなげることができた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 体験事業の実施数				【説明】 体験活動の機会の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	事業数	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		17	平時	平時	平時			15
		R 2 有事	12	21	25			R 8 有事
2							2	
分 析	子供向けからお茶の専門的な内容まで、幅広い体験事業を実施することで参加者からは好評だったが、定員の関係で希望する参加者を受け入れられない事業もあった。							
課 題 及 び 改 善 点	市民の要望に応えるために事業数を増やしたいが、現在の職員体制でこれ以上増加させることは困難な状況である。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P26

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	青少年の豊かな心を育むために、創造性や協調性を育む体験事業、自己肯定感を高めるための社会奉仕体験事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	公民館事業として、科学体験教室や書初め教室等を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】体験事業の実施数				【説明】実施数により、体験活動の機会提供の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		35	平時	平時	平時			50
		R2有事	41	41	30			R8有事
5		40						
分 析	公民館基本計画において「地域活動の促進」を重点施策に位置付けたことにより事業化が進んでいる。							
課 題 及 び 改 善 点	様々な公民館事業において、青少年がボランティアを体験できるように工夫をしていく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	体験活動の機会提供						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	小学生を対象にした多様な分野の体験事業、主に中学生を対象にした企画運営体験事業等、発達段階に応じた体験事業を実施します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	七宝焼体験他芸術・文化・生活体験事業等を実施。参加者が増加した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】延べ参加者数				【説明】事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		779	平時	平時	平時			1,475
		R2有事	370	1,385	1,915			R8有事
36		0						
分 析	多くの方が参加できるよう事業内容を充実したことにより、参加者が530名増加した。(前年度比38.3%増)							
課 題 及 び 改 善 点	事業内容の充実。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	青少年が学習等に利用できる「空き室開放事業」を通年で実施、春・夏休みには、「子ども居場所づくり事業」を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	春・夏休み「子ども居場所づくり事業」では、一部の公民館において地域の方による見守り・協力の仕組みを実施できた。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 こども居場所づくり事業の参加人数				【説明】 参加人数により居場所づくり事業の充実度を図る			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	人	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		980	平 時	平 時	平 時			1,200
		R 2 有 事	1,070	1,070	1,477			R 8 有 事
335		600						
分 析	公民館と地域の方が連携して子どもの見守り等を実施できたことにより、事業の質や効果が高まった。							
課 題 及 び 改 善 点	地区センター化に伴い、4分館が業務委託による管理となったため、4分館で春・夏休み「子ども居場所づくり事業」を実施する場合、所管する地区センター職員が分館に赴き事業を実施する必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目 標	青少年が気軽に利用できる環境を整えるとともに、青少年向けの資料の充実を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	<p>【環境整備について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・YAフリーボードの設置 ・試験前臨時学習室の実施 <p>【資料の充実について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ティーンズ向け資料蔵書数 13,363点 							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ティーンズ書の蔵書数				【説明】 事業の蔵書数により、居場所づくりの充実度を判断する。			
指 標 の 推 移	単 位	現 状 値	実 績 値				目 標 値	
	冊	R 1 平 時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平 時
		12,927	平 時	平 時	平 時			16,000
		R 2 有 事	14,921	13,361	13,363			R 8 有 事
13,160		16,000						
分 析	ティーンズ書の購入に努めたが、価値不要の資料を除籍したため、蔵書数は令和5年度から微増にとどまった。							
課 題 及 び 改 善 点	青少年向けの資料の充実は図れたが、居場所づくり事業を実施することができなかつたので、検討する必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	居場所づくりの充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	青少年がスタッフや友達と交流しながら自由にのびのび過ごす「むささびひろば」を実施します。また、青少年関係団体との協働により、中高生のための居場所づくりを展開します。							
取 組 状 況 及 び 成 果	森あそびクラブ、むささび食堂、施設開放を実施。参加者が増加した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 延べ参加者数				【説明】 事業実施による成果数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		3,747	平時	平時	平時			2,030
		R 2 有事	1,000	1,888				R 8 有事
521							263	
分 析	施設開放事業が地域の子どもたちに定着し、放課後や学校が休みの日に来館する児童・生徒が2,190名増加した。(前年度比116%増)							
課 題 及 び 改 善 点	内容の充実。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P27

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							公民館	B
目 標	地域の青少年関係団体と関係機関等との連携を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	入間市中央少年少女合唱団との共催により「ジュニア合唱教室」を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 連携事業の実施数				【説明】 実施数により支援の充実度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値					目標値
	事業	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1	平時	平時	平時			2
		R 2 有事	1	1	1			R 8 有事
1								1
分 析	青少年関係団体の数そのものが減少している中ではあるが、連携事業の実施等の支援を継続することで会員数の増加が見られた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後は新たな青少年関係団体の誕生に向けた支援を行う。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 7

主 な 取 組	青少年関係団体の支援の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	青少年団体への補助金交付、青少年活動者研修の実施、協働による青少年事業の実施等、多様な支援に取り組みます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	社会教育団体への補助金交付 2団体（青少年相談員協議会・BSGS連絡協議会）に交付							
指 標 及 び 説 明	【指標】 構成員数				【説明】 活動・事業実施の活動者数			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		203	平時	平時	平時			200
		R 2 有事	202	210	224			R 8 有事
209		200						
分 析	構成員数が14名増加し、活動の継続性が保たれている。青少年相談員は7名増加し、令和6年度は埼玉県で2番目に多い委嘱数である。							
課 題 及 び 改 善 点	少子化等による全体対象者数の減少への対応と活動の活性化。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							博物館	C
目 標	高校生・大学生がボランティアとして活躍できるイベントを実施し、事業スタッフや青少年リーダーの育成を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	博物館開館30周年記念式典において東野高校ダンス部の記念演技を実施した。青少年が活躍できる場をつくることで、育成の一助になった。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 事業への参加人数				【説明】 ボランティア等の育成状況を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		1	平時	平時	平時			5
		R 2 有事	5	5	4			R 8 有事
0		0						
分 析	現在の博物館事業の中で、青少年がボランティアとして活動できる事業が少ない。							
課 題 及 び 改 善 点	指定管理者の事業等も含めて、青少年が活躍できる事業を検討する必要がある。また、引き続き近隣の高等学校とも連携していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							公民館	C
目 標	子ども会のジュニアリーダー養成事業等を実施し、ボランティアの育成を図る。							
取 組 状 況 及 び 成 果	西武公民館では一部事業でボランティアの参加があり、金子公民館では金子ジュニアリーダー養成講座を実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ボランティア体験事業の参加人数				【説明】 参加人数により、地域のボランティアや青年リーダー育成の進行度を判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		83	平時	平時	平時			250
		R 2 有事	246	246	109			R 8 有事
25		250						
分 析	少子化により事業の対象となる世代が減少している影響を受けている。							
課 題 及 び 改 善 点	子ども会が消滅していく中で、スタッフ、リーダー養成事業の実施そのものが困難になっている。今後の事業の在り方を検討していく。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 8

主 な 取 組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成						担当課	自己評価
							児童センター	A
目 標	市民や地域との協働により、青少年の自己肯定感・自己有用感及び社会性・創造性を育み、社会を生き抜くための力の習得を図ります。							
取 組 状 況 及 び 成 果	児童の自主的な意見を運営に取り入れ、児童センターの運営や活動に生かすため、児童が意見を述べる場の提供を目的に、こども運営ボランティア事業を開催している。また、ボランティアの育成を図ることを目的に、長期休業期間中において中学生ボランティアを募集している。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 ボランティア体験事業、リーダー養成事業の参加人数				【説明】 事業参加による人材育成を図る			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		67	平時	平時	平時			150
		R 2 有事	220	305	438			R 8 有事
34		50						
分 析	こども運営ボランティアは近隣の小学生の児童が多いが、広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動に努め、参加人数を増やすことができた。							
課 題 及 び 改 善 点	今後もより広く市内各地域から参加者が集まるように広報活動などに努めたい。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(3) 青少年教育の充実

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P28

主な取組	青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成		担当課	自己評価				
			青少年活動センター	B				
目標	中学生を主対象にした企画運営体験を実施し、高校生スタッフを経て、将来的な青年リーダーへと長期的な育成を行います。							
取組状況及び成果	青少年企画、体験事業の実施、青少年活動センターフェスティバル（青少年企画・体験事業）の実施。							
指標及び説明	【指標】参加者数	【説明】事業参加による人材育成を図る						
指標の推移	単位	現状値	実績値			目標値		
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		114	平時	平時	平時			100
		R2有事	0	11	24			R8有事
0		0						
分析	イベント事業で企画運営スタッフを公募し、青少年の事業への参画が得られた成果である。参加者は13名増加しているが、リピーターも多く、継続して参加してもらうことで将来的なリーダーの育成につながる。							
課題及び改善点	子ども会等が衰退する中でスタッフ、リーダーの養成そのものが困難になっているため、関係団体と調整を図りながら、担い手養成のための事業を検討し、実施に向けて取り組む。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

施策	(3) 青少年教育の充実				
施策評価	主な取組	担当課		自己評価	総合評価 B
		青少年課		B	
	体験活動の機会提供	博物館		A	
		公民館		B	
		青少年活動センター		A	
		公民館		A	
	居場所づくりの充実	図書館		A	
		青少年活動センター		A	
		公民館		B	
	青少年関係団体の支援の充実	青少年活動センター		A	
		青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成		C	
	学識経験者等意見	博物館		C	
公民館		C			
児童センター		A			
青少年活動センター		B			
<p>「体験活動の機会の提供」に関して、青少年課、博物館、公民館および青少年活動センターにおいて、自己評価がAおよびBと概ね進捗が順調であることがうかがわれます。とりわけ参加者が受入人数を超過する状況にあり、高く評価できます。引き続き事業の充実を期待します。そのなかで、公民館において、目標に「自己肯定感を高める」とあり、当該事業を実施する前と実施後でどのようにこうした意識に変容がみられたのかを指標としてみえる化していただけると評価が確かなものになります。また、青少年活動センターにおいては、目標に「主に中学生を対象とした企画運営体験」とあります。中学生の声をどのように聴き取り、それが計画に反映されているのかがわかるかたちで分析がされていると、この点の評価が確かなものになります。ご検討願います。</p>					

「居場所づくりの充実」に関して、家か学校か商業施設にしか居場所がない現代の青少年の生きられる世界の実情をかんがみると、このような青少年の居場所が多様に設置していこうとする姿勢はとても素晴らしいと評価いたします。図書館においては、資料の充実を図れたことを受けて、次のステップとしてどのように図書館を居場所化していけるのか。ぜひ継続して検討していただきたいと思います。また、青少年活動センターにおいては、「むさびひろば」を中心に、どのような居場所にしていきたいのかを積極的に中高生から声を聴き取り、その声を反映した居場所づくりができているのかといったことがわかる分析をしていただきたいと思います。また、各担当課には、障害のある青少年にとっても居場所になりうるような居場所づくりという点もぜひ今後の課題として検討していただきたいと思います。

「青少年関係団体の支援の充実」および「青少年関係団体を対象にしたスタッフ及びリーダー養成」に関して、青年期の同世代での体験が、その後の市民社会を担う資質能力を向上させていくうえでとても重要であり、その活動拠点となる青少年関係団体を社会教育の各担当課が担う意義はとても重要です。少子化による組織再編等の課題は難しいところがありますが、その維持発展のために頑張ってくださいと思います。

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成
支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	指定文化財等の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	調査研究を通じて、貴重な文化財を指定文化財等に指定するとともに、保存と活用に取り組む。							
取 組 状 況 及 び 成 果	新たに1件の文化財指定を行うとともに、さらに1件の文化財について文化財保護審議委員会で指定に向けた審議を行った。また、国へ登録文化財（建造物）1件の意見具申を行い、貴重な文化財の保存を図った。なお、保存が必要な事業に対しては、国の補助金を活用することで、所有者等の負担を軽減するとともに、修復についての情報発信を通して市民の文化財保護意識の向上につなげることができた。							
指標及び説明	【指標】 指定文化財等の件数			【指標】 指定文化財等の件数				
指標の推移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	件 (累計)	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		78	平時	平時	平時			84
		R 2 有事	79	80	81			R 8 有事
79		—						
分 析	指定により文化財の直接の保存につながるが、文化財の持つ価値や魅力を発信することで、市民の文化財保護の機運を醸成していく必要がある。また、保存に必要な処置では、所有者等の経費的な負担を軽減できるように、補助金や助成金等を活用できるように情報収集を行う必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	文化財保護審議委員等の有識者や大学等と連携した調査・研究により文化財の価値を掘り起こし、指定文化財に指定して保護するとともに、情報として発信していくことで、市民の文化財保護意識の向上につなげていく必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実 【施策】(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援
 【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P29

主な取組	文化財保護啓発事業の実施						担当課	自己評価
							博物館	B
目標	各地区に残る身近な文化財を生かし、市民に郷土の魅力を再認識してもらう事業を実施していく。							
取組状況及び成果	地域の大切な文化財を火災から守るために、地域と連携した文化財防火訓練を実施した。また、文化財啓発に係る講座等を2回実施した。延べ参加者は82名だった。地域の人々に身近な文化財を通して文化財保護に対する意識を持ってもらうことで、地域で文化財を守っていく気持ちを醸成することができた。							
指標及び説明	【指標】文化財保護啓発事業への参加人数			【説明】市民の文化財保護意識の高まりを判断				
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		149	平時	平時	平時			250
		R2有事	132	1,066	82			R8有事
95		120						
分析	展示を行った昨年度に比べると参加人数は減少した。各事業を通して文化財の価値や魅力を発信しているが、事業への参加者は少ない状況にある。また事業の実施とともに、様々な媒体を活用し、文化財の情報を発信していくことも必要である。							
課題及び改善点	様々な場面を捉えて身近な文化財の情報を発信し、市民の方々が日常的に文化財に親しむ環境を整備していく必要がある。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第1項 社会教育の充実

【施策】(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P29

主な取組	近代化遺産の保存・活用						担当課	自己評価
							博物館	A
目標	旧石川組製糸西洋館・旧黒須銀行の計画的な修繕による保存を図るとともに、魅力ある活用事業を実施し、市民文化の向上や観光の振興につなげる。また、財源の確保にも取り組む。							
取組状況及び成果	西洋館では、一般公開やイベントを実施し来館者は3,425名であった。また、旧黒須銀行では、新一万円札発行記念のイベントを実施し、398名の来館者があった。なお、旧黒須銀行は10月より復元修理工事が始まっており、令和8年度に完了する予定である。一般公開やイベントの実施を通じて、文化財としての重要性や魅力を発信し、市民の保護意識の向上につなげることができた。							
指標及び説明	【指標】西洋館・旧黒須銀行の来館者数			【説明】近代化遺産の活用状況を判断				
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	人	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		4,656	平時	平時	平時			8,000
		R2有事	6,437	4,313	3,823			R8有事
1,610		2,000						
分析	西洋館では、一般公開やイベント、撮影への貸出等の活用を通して、継続的に建物の魅力を伝えていく必要がある。また、旧黒須銀行については、復元修理工事の情報を様々な場面で発信することで、工事完了後の活用に向けての機運を高めていく必要がある。							
課題及び改善点	効果的な情報の発信や魅力的なイベントの実施を通じて、実際に来館してもらう機会につなげていく必要がある。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実 【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	埋蔵文化財の保護						担当課	自己評価
							博物館	A
目 標	試掘・発掘調査を実施して埋蔵文化財の適切な記録、保存を図るとともに、出土品等を活用した事業を実施していく。							
取 組 状 況 及 び 成 果	埋蔵文化財包蔵地において開発に先立つ試掘調査を9件実施し、調査結果をまとめた報告書を刊行することで、埋蔵文化財の適切な保護を図ることができた。また、発掘調査を1件実施するとともに、現地の見学や小中学生向けの説明会を開催することで、埋蔵文化財に対する保護意識の啓発や郷土愛の形成につなげることができた。							
指標及び説明	【指標】 埋蔵文化財の報告書刊行数			【説明】 埋蔵文化財の適切な保存状況を判断				
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	回 (累計)	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		40	平時	平時	平時			49
		R 2 有事	43	44	45			R 8 有事
41		-						
分 析	工事により滅失の怖れがある埋蔵文化財を適切に記録して保存するとともに、埋蔵文化財の市民の理解を深めるために、様々な場面で情報発信していく必要がある。							
課 題 及 び 改 善 点	発掘調査に対応できる調査体制を整備するとともに、調査により新しく分かった情報を継続的に発信していく取り組みが必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実 【施策】 (4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】 P 2 9

主 な 取 組	伝統文化活動団体の支援の充実						担当課	自己評価
							社会教育課	A
目 標	地域の文化を守り育てるために、博物館と連携しながら地域の関係団体等との協働による事業を実施する。							
取 組 状 況 及 び 成 果	入間市郷土芸能連合会のうち、博物館が管轄する指定無形民俗文化財以外の郷土芸能10団体へ助成金(1団体15,000円)を分配した。							
指標及び説明	【指標】 会員数合計			【説明】 10団体の会員数の合計				
指標の推移	単位	現状値	実績値					目標値
	人	R 1 平時	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 8 平時
		400	平時	平時	平時			400
		R 2 有事	391	391	358			R 8 有事
396		400						
分 析	団体構成員の高齢化が進み、郷土芸能連合会の会員総数が減少している。							
課 題 及 び 改 善 点	団体構成員の高齢化が進む中、後継者となる人材の育成が進んでいない。幅広い世代が伝統文化への興味・関心を高める事業を実施するなどの取り組みが必要である。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第1項 社会教育の充実

施 策	(4) 文化財保護・活用の充実、伝統文化活動団体の育成支援			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	指定文化財等の保護	博物館	A	A
	文化財保護啓発事業の実施	博物館	B	
	近代化遺産の保存・活用	博物館	A	
	埋蔵文化財の保護	博物館	A	
伝統文化活動団体の支援の充実	社会教育課	A		
学 識 経 験 者 等 意 見	<p>「指定文化財等の保護」「文化財保護啓発事業の実施」「近代化遺産の保存・活用」「埋蔵文化財の保護」「伝統文化活動団体の支援の充実」に関して、「文化財保護啓発事業の実施」は、前年度に比べて参加人数が大幅に減少したため自己評価が「B」となっているものの、それ以外は「A」であり、全体として進捗が順調であることがうかがわれます。引き続き、市民が自分たちの住む市の文化財の価値を理解し、郷土の魅力を意識する事業の実施を期待します。社会教育課の事業に関しては、ぜひ伝統文化の継承の課題について小中学校と連携した事業を検討していただきたいと思います。</p>			

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	博物館施設の充実						担当課	自己評価
							博物館	B
目標	施設の機能維持や、来館者の安心・安全と利便性の向上につながる設備について、計画的な修繕を行う。また、館庭については、「市民の心のよりどころ」となる場として、活用方法を検討し、利用促進に取り組んでいく。							
取組状況及び成果	博物館の機能維持に不可欠な近年の懸案事項であった空調設備の修繕を行うとともに、照明のLEDへの更新を行った。また館庭では、ナラ枯れ樹木の伐採を行った。							
指標及び説明	【指標】市民意識調査の満足度				【説明】市民意識調査の結果から判断			
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	満足度	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0.197	平時	平時	平時			0.210
		R2有事	0.218	-	0.200			R8有事
							0.180	
分析	市民の施設利用のため、また博物館資料の適切な保管のために、計画的に修繕を実施していく必要がある。							
課題及び改善点	経年劣化により不具合を生じる施設・設備が増加しており、現在の修繕料の予算では対応できない事例も発生している。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主な取組	図書館施設の充実						担当課	自己評価
							図書館	A
目標	西武分館の空調設備工事を行い、各館でも快適な読書環境の整備に努める。							
取組状況及び成果	指定管理者及び各施設管理者と連携・協力して管理運営を行うとともに、十分な協議を行い、快適な読書環境の整備に努めた。 ・西武分館の空調設備の更新が完了した。 ・金子分館では、地区センター改修に合わせて、空調設備を更新した。また、照明器具のLED化が完了した。							
指標及び説明	【指標】社会教育施設に関する市民満足度				【説明】市民意識調査の結果から、施設やサービスの充実が図られているかを判断する。(施設の利用状況「利用している割合」)			
指標の推移	単位	現状値	実績値				目標値	
	%	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		42.0	平時	平時	平時			45.0
		R2有事	37.9	-	-			R8有事
-							30.0	
分析	・西武分館では、昨年に引き続き空調設備工事を行い、快適な読書環境を整えることができた。 ・金子分館では、改修のため一時休館としたが、快適な読書環境を整えることができた。							
課題及び改善点	西武分館のエレベーター及び自動ドアの更新が必要である。特にエレベーターについては、2階会議室が選挙投票所及び災害避難所となることから早急な対応が必要である。また、本館、西武分館、藤沢分館の蛍光灯入手が困難であり、LED化が必要である。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主 な 取 組	公民館施設の充実						担当課	自己評価
							公民館	A
目 標	老朽化が進む施設を計画的に改修・修繕するとともに、引き続き施設のバリアフリー化に取り組む。また、ユニバーサルデザインへの対応や多目的に利用できるオープンスペースの拡充など全般的な機能向上に努める。							
取 組 状 況 及 び 成 果	令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、連空調設備修繕工事、障害者誘導用ブロック修繕などを実施した。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 社会教育施設に対する市民満足度				【説明】 市民意識調査の結果から判断			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	満足度	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		0.291	平時	平時	平時			0.320
		R2有事	0.297	0.297	0.329			R8有事
—		0.300						
分 析	令和5年度から施設の管理が地域振興課になったが、計画的に修繕及び工事を実施したため、目標を達成できた。							
課 題 及 び 改 善 点	工事期間中のサークル活動や公民館事業の継続について、施設管理を担当する地域振興課と更なる連携を図っていく。							

【施策の体系】4 社会教育

【政策】第2項 社会教育施設等の整備

【施策】(1) 施設の充実・最適化

【第3期入間市教育振興基本計画の掲載ページ】P30

主 な 取 組	青少年活動センター施設の充実						担当課	自己評価
							青少年活動センター	A
目 標	緊急性の高いものから計画的に修繕を行っていきます。また、特色を生かし、活発で好奇心旺盛な子どもたちが気軽に来館していただけるような、安心・安全で、優しく快適な施設づくりに取り組んでいきます。さらに、青少年活動センター運営協力会会員との協働により、様々な利用者のニーズに即した魅力的な施設の整備に取り組んでいきます。							
取 組 状 況 及 び 成 果	緊急性の高いものから計画的に修繕を行った。カシナガ被害による枯損木の伐採を行った。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 設定困難				【説明】 —			
指 標 の 推 移	単位	現状値	実 績 値				目標値	
	—	R1平時	R4	R5	R6	R7	R8	R8平時
		—	平時	平時	平時			—
		R2有事	—	—	—			R8有事
—		—						
分 析	必要な修繕を適正に行うことにより、利用者の安全確保を徹底した。また、定期的に施設内の点検を行い、ナラ枯れが発生した枯損木等について、追加伐採など適正な措置を実施した。							
課 題 及 び 改 善 点	施設の老朽化のため、安全性を確保する。							

【施策の体系】 4 社会教育

【政策】 第2項 社会教育施設等の整備

施 策	(1) 施設の充実・最適化			
施 策 評 価	主な取組	担当課	自己評価	総合評価
	博物館施設の充実	博物館	B	A
	図書館施設の充実	図書館	A	
	公民館施設の充実	公民館	A	
青少年活動センター施設の充実	青少年活動センター	A		
学 識 経 験 者 等 意 見	<p>各施設の市民の安全な利用を促進するために、引き続き計画的な修繕・維持管理等に勤めていた たきたいと思えます。とりわけ、文化財の保存や蔵書の保存管理など博物館や図書館の空調設 備の整備は切実なため、適切な予算確保を本市に努めていただくことを期待します。</p>			